

▼ザノサー点滴静注用 [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】ストレプトゾシン streptozocin 【分類】抗悪性腫瘍剤 [ニトロソウレア類]

【単位】▼1g/V

【常用量】■5日間連日投与方法：「1回500mg/m²、1日1回5日間連日点滴静脈内投与、37日間休業」を1サイクルとして投与を繰り返す

■1週間間隔投与方法：「1回1,000mg/m²を1週間ごとに1日1回点滴静脈内投与 [最大1回1500mg/m²]

【用法】30min～2hrかけて点滴静注

【透析患者への投与方法】副作用が強くあらわれるおそれがあるため腎障害患者には慎重投与 (1)

【PD】適用されない (12)

【CRRT】データなし (12)

【保存期 CKD 患者への投与方法】副作用が強くあらわれるおそれがあるため腎障害患者には慎重投与 (1)

【その他の報告】Ccr 10～50mL/min : 75%, Ccr 10mL/min 未満 : 50% (12)

【特徴】膵・消化管神経内分泌腫瘍に適用されるアルキル化剤。グルコーストランスポーターを介し細胞に取り込まれた後、DNAをアルキル化し、DNAの合成を阻害することにより腫瘍増殖を抑制する。GLUT2を介してβ細胞内に取り込まれる。

【主な副作用・毒性】腎障害、肝障害、骨髄抑制、耐糖能異常、不眠、錯乱、うつ病、めまい、消化器症状、血尿、蛋白尿、倦怠感など多数

【代謝】肝臓及び腎臓で代謝されると考えられている (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 11% [iv, 24hr まで] (1) 主に代謝物として尿中に回収 (1)

【t1/2】40min (1) 0.25hr (12)

【蛋白結合率】資料なし (1,12)

【Vd】BBBを通過する (1) 0.5L/kg (12)

【MW】265.21

【透析性】資料なし (1)

【薬物動態】腹腔内投与した PK 試験 (Goel R, et al: Clin Invest Med 15: 420-6, 1992 PMID: 1458714)

【O/W 係数】LogP=-2.704 [1-オクタノール/水系] (1)

【更新日】20170727

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。